2025年度
東京音楽大学大学院
音楽研究科音楽専攻博士後期課程

学生募集要項

一般選抜

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

2025 年度博士後期課程　学生募集要項　目次

Ⅰ 博士後期課程概要

❶ 博士後期課程設置の趣旨……1
❷ 育成する人材像……1
❸ 担当教員……2
❹ 教育課程……3

Ⅱ 試験概要

❶ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）……4
❷ 募集人員……4
❸ 出願資格……5
一般選抜……5
社会人特別選抜……5
外国人留学生特別選抜……6
❹ 日程一覧……7
❺ 試験場……7
❻ 選抜方法……7
❼ 出願手続……9
出願の流れ……9
出願書類一覧……11
❽ 外国学生（外国籍）の方へ：在留資格「留学」の取得について……15
❾ 合格発表……16
❿ 問い合わせ先……16

Ⅲ 試験科目

❶ 共通科目試験……17
❷ 専門科目試験・口述試験……17

Ⅳ 入学手続

❶ 入学手続……20
❷ 学費その他の納入金……20

Ⅴ 奨学金・経済的支援制度 21

Ⅵ 成績開示 21

Ⅶ 個人情報の取り扱いについて 21

Ⅰ 博士後期課程概要

1 博士後期課程設置の趣旨

（1）本学大学院は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされている能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。（本学大学院学則第2条）

（2）本学の修士課程では、1993年4月に設置以来、専門の基礎を重視する学部段階における教育との一貫性の観点から、器楽専攻、声楽専攻、作曲指揮専攻および音楽文化研究専攻の4専攻の細分化された専門領域において、より高度化を図るための教育研究が行われている。

（3）2014年4月に設置の博士後期課程では、修士課程までに身につけた各専門分野の研究能力をより高めると同時に、音楽専攻という一つの専攻のもとに多様な専門の学生を受け入れることによって、分野横断的・総合的な研究教育を強力に推進する。
また、音楽の各分野におけるより高度な専門性、総合的知見および社会的・実践的能力を修得して、幅広い視野と的確な判断力を備えた、優れた高度専門職業人および研究者の養成を行う。
さらに博士後期課程においては、国際交流をより積極的に展開するとともに、社会貢献を果たすこととする。

2 育成する人材像

博士後期課程では「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」を備えた次のような人材を育成する。

（1）音楽の演奏や創作に関する高度の専門性を有することに加え、総合的な知見をもって文化の進展に寄与する芸術表現を論理的かつ主体的に研究、追求し、かつこれを他分野の人々にも言語化して伝達することを通して社会的・実践的能力を発揮することのできる音楽家、すなわち音楽の実践を行う演奏家並びに作曲家（以下「音楽家」という）。

（2）音楽と教育に関する専門的な知識を修得していることに加え、それらを基盤としながら学際的な研究を行い、かつ音楽教育における実践的スキルと指導法を習得し、教育実践と研究活動をバランスよく遂行しながら、音楽家や音楽学研究者と共同して音楽文化の発展に貢献し、主に高等教育において音楽家や音楽教師の育成に携わる音楽教育者並びに音楽教育学研究者。

（3）音楽に関する深い学識をもって、人間の音楽文化を価値づけることに加え、総合的な知見を有しながら自立して研究を推進し、かつ様々な音楽家や音楽教育者、音楽教育学研究者とも共同して、その成果を社会に発信していく実行力をもった音楽学研究者。

3 担当教員

2024年度

職位	氏名	（専門分野）
教授	岡田敦子	（ピアノ）
教授	石井克典	（ピアノ）
教授	大竹紀子	（ピアノ）
客員教授	佐藤俊	（ピアノ）
准教授	川上昌裕	（ピアノ）
准教授	御邊典一	（ピアノ）
専任講師	石岡千弘	（ピアノ）
教授	大谷康子	（ヴァイオリン）
教授	荒井英治	（ヴァイオリン）
教授	木野雅之	（ヴァイオリン）
教授	ドミトリー・フェイギン	（チェロ）
特任教授	原田幸一郎	（ヴァイオリン）
特任教授	小栗まち絵	（ヴァイオリン）
教授	工藤重典	（フルート）
教授	古部賢一	（オーボエ）
教授	小串俊寿	（サクソフォーン）
教授	釜洞祐子	（声楽）
教授	菅有実子	（声楽）
教授	横山恵子	（声楽）
教授	小森輝彦	（声楽）
教授	服部洋一	（声楽）
教授	志村文彦	（声楽）
准教授	緑川まり	（声楽）

職位	氏名	（専門分野）
准教授	秋山隆典	（声楽）
准教授	伊達英二	（声楽）
准教授	星洋二	（声楽）
教授	藤原豊	（作曲、ソルフェージュ、多文化音楽）
教授	野平一郎	（作曲）
教授	原田敬子	（作曲）
客員教授	糀場富美子	（作曲）
特任教授	細川俊夫	（作曲）
特任教授	大和田俊之	（作曲）
准教授	有馬純寿	（作曲）
教授	広上淳一	（指揮）
教授	岡島礼	（ソルフェージュ）
准教授	荒尾岳児	（ソルフェージュ）
准教授	山洞智	（ソルフェージュ、ピアノ、ピアノ伴奏）
特任教授	佐野靖	（音楽教育学）
准教授	下道郁子	（音楽教育学）
准教授	福田裕美	（音楽教育学、多文化音楽）
教授	武石みどり	（音楽学）
教授	村田千尋	（音楽学）
教授	藤田茂	（音楽学）
客員教授	坂崎則子	（音楽学）
准教授	新林一雄	（音楽学）
教授	小日向英俊	（多文化音楽）

4 教育課程

履修区分		授業科目	履修年次			修得単位数		
			1年次	2年次	3年次	小計	中計	合計
必修科目	総合研究科目	博士総合研究指導	0	0	0	0	2	10
		博士総合演習Ⅰ	1			1		
		博士総合演習Ⅱ		1		1		
選択必修科目	専門研究科目	器楽専門研究Ⅰ	2			2	4	
		器楽専門研究Ⅱ		2		2		
		声楽専門研究Ⅰ	2			2		
		声楽専門研究Ⅱ		2		2		
		作曲指揮専門研究Ⅰ	2			2		
		作曲指揮専門研究Ⅱ		2		2		
		ソルフェージュ専門研究Ⅰ	2			2		
		ソルフェージュ専門研究Ⅱ		2		2		
		多文化音楽実践専門研究Ⅰ	2			2		
		多文化音楽実践専門研究Ⅱ		2		2		
		音楽教育学専門研究Ⅰ	2			2		
		音楽教育学専門研究Ⅱ		2		2		
		音楽学専門研究Ⅰ	2			2		
		音楽学専門研究Ⅱ		2		2		
		多文化音楽専門研究Ⅰ	2			2		
		多文化音楽専門研究Ⅱ		2		2		
	共同研究科目	博士共同研究ＡⅠ	2			2	4	
		博士共同研究ＡⅡ		2		2		
		博士共同研究ＢⅠ	2			2		
		博士共同研究ＢⅡ		2		2		

【修了要件及び履修方法】

博士後期課程に3年以上在籍し、教育課程表に定める総合研究科目を2単位、専門研究科目を4単位および共同研究科目AまたはBを4単位、合わせて10単位以上を修得し、博士論文及び研究演奏または研究作品（専門研究科目の音楽教育学、音楽学、多文化音楽の専門研究Ⅰ・Ⅱを選択した者は博士論文のみ）の審査及び最終試験に合格すること。

Ⅱ 試験概要

1 アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本研究科は、広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的としている。

博士後期課程においては、修士課程で培った専門的な知識･能力に加えて、総合的な知見と社会的･実践的能力を備えた高度専門職業人（音楽家、音楽教育者）と研究者（音楽教育学研究者、音楽学研究者）の養成を行うこととしている。

音楽研究科の教育研究に関する基本理念は、人間力豊かで広い視野を持ち、音楽に関してより高度な専門性と独創力を有し、国内外で活躍する音楽家、音楽教育者、音楽教育学研究者並びに音楽学研究者を育成することにあり、次のような資質と問題意識を持つ人材を対象として入学者選抜を行う。

（1） 博士後期課程への進学目的が明確な者
（2） 専門分野における基礎的・専門的な音楽力および語学力を身に付けている者
（3） 博士後期課程の教育研究目標や研究活動を十分理解し、活用できる者

2 募集人員

音楽研究科音楽専攻博士後期課程　3名
（社会人および外国人留学生を含む。）

専攻	学位	専門分野
音楽	博士（音楽）	器楽･声楽･作曲指揮･ソルフェージュ･多文化音楽実践
	博士（音楽教育学）	音楽教育学
	博士（音楽学）	音楽学・多文化音楽研究

※他の大学院に在籍中の学生で、本学大学院に転入学を希望する場合は、7月31日（水）までにメールにて入試課にお問い合わせください。

3 出願資格

一般選抜

次のうち、いずれかに該当する者

① 修士の学位や専門職学位を有する者、または2025年3月31日までに取得見込みの者
② 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
④ 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
⑥ 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
⑦ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日において24歳に達している者

※ ⑦の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。事前に入試課に問合せ、必要書類を確認の上、2024年11月11日（月）までに所定の申請書と共にご提出ください。

社会人特別選抜

多様な学修歴を持つ社会人のニーズと社会的要請に応えるために実施する。

①～⑦のいずれかに該当し、かつ⑧～⑩のいずれか一つに該当する者

① 修士の学位や専門職学位を有する者、または2025年3月31日までに取得見込みの者
② 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
④ 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
⑥ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
⑦ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日において24歳に達している者
⑧ 出願時において大学または研究所等に正規の教職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者
⑨ 出願しようとする専門分野に関連した職種に3年以上の勤務経験を有すると本学大学院が認めた者
⑩ 出願しようとする専門分野に関連した活動を3年以上行っていると本学大学院が認めた者

※ ⑦・⑨・⑩の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。事前に入試課に問合せ、必要書類を確認の上、2024年11月11日（月）までに所定の申請書と共にご提出ください。

外国人留学生特別選抜

本学は、教育研究の向上を図り、国際交流を推進するため、優秀な外国人留学生の受入れを特別選抜により実施する。

①～⑥のいずれかに該当し、かつ⑦～⑨の全てに該当する者

日本国籍を有しない者で、日本の大学院修士課程または博士課程を修了した者(修了見込みを含む)は、外国人留学生特別選抜の対象とはならない(国費外国人留学生を除く)。

① 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
② 外国の学校が行う通信教育を日本国内において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
③ 日本国内において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2025年3月31日までに授与される見込みの者
⑤ 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
⑥ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日において24歳に達している者
⑦ 入学時、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の資格を有する者、または長期滞在可能な資格を有する者。
⑧ 日本語能力試験N1を有すること。
⑨ 確実な身元保証人がいること。身元保証人は、独立して生計を営む成年者で、志願者の学費と一身上の一切の責任を負うことができる者であること。
※ ⑥の出願資格で出願を希望する場合、事前に出願資格審査を行います。事前に入試課に問合せ、必要書類を確認の上、2024年11月11日(月)までに所定の申請書と共にご提出ください。

4 日程一覧

出願期間		2025年1月6日(月) ～1月17日(金) 消印有効	
検定料振込期間		2025年1月6日(月) ～1月17日(金)(検定料40,000円)	
試験期間	外国語試験	2025年2月20日(木)	10:00～11:40 (100分)
	専門科目試験・口述試験	2025年2月20日(木) ～2月22日(土) ※一部の専門科目試験の2月19日(水)に実施する場合があります。	
合格発表	Web出願サイト	2025年2月28日(金) 15:00～3月2日(日) 17:00	
入学手続期間		2025年3月1日(土) ～3月7日(金)(消印有効)	
成績開示申請期間		2025年2月28日(金) ～3月7日(金)(必着)	

【注意】試験日程および試験会場についての詳細は、試験初日の3日前までに、Web出願時に登録されたメールアドレスにお知らせします。試験日時等に関する電話やメールでのお問合せはご遠慮ください。

5 試験場

東京音楽大学中目黒・代官山キャンパス (住所：〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1)
東京音楽大学池袋キャンパス (住所：〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5)
※試験場には必ず受験票(共演者、伴奏者、譜めくりは受験票のコピー)を持参し、守衛に提示して入構してください。

6 選抜方法

出願書類審査、外国語試験、専門科目試験および口述試験の成績を総合して判断します。

受験上・修学上の配慮を希望する志願者について

疾病および障がい等の理由で受験上の特別な措置および修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、下記の要領で本学入試課に書類を提出してください。提出書類に基づき、必要に応じて面談を行い、対応可能な範囲を相互に確認します。
なお、すべてのご希望に沿えるとは限りませんので、予めご承知おきください。

[**提出書類**]

1．受験上の配慮申請書
次の(1)から(9)の事項を記載してください。様式は問いません。
(1)氏名 (2)住所・連絡先 (3)出身大学院名 (4)出願の専門分野・楽器等 (5)出身大学院でなされていた配慮 (6)受験上の特別な配慮を希望する事項 (7)修学上の特別な配慮を希望する事項 (8)日常生活の状況 (9)その他参考となる事項

2．医師の診断書(配慮の必要性がわかるもの)、もしくは**障がい者手帳のコピー**

[**期日**]
2024年12月2日(月)(必着)

[**宛先**]
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課 TEL 03-6455-2754

学校保健法で出席の停止が求められている感染症に関する注意事項について

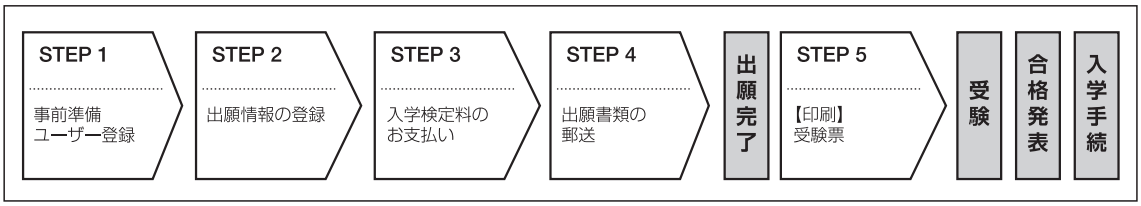
学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ・はしか等)にかかり治癒していない場合、その感染症が他の受験者や試験監督者等に拡がるおそれがありますので、入学試験を受験することはできません。また、試験当日の検温により発熱があった場合や、通常とは異なる体調不良があり感染症に罹患している可能性がある場合も、受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと判断した場合は、この限りではありません。
上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調には十分に注意してください。
尚、感染状況等により事情が変わった場合には、改めてホームページ等でお知らせします。

7 出願手続

出願の流れ

出願方法はWeb出願のみです。
本学ホームページの「入試案内(大学院)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下記の手順に沿って出願を行ってください。
※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

出願ガイド
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/



STEP 1

① Web出願にあたっての事前準備(詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

□ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのうち、いずれかの機器
□ メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン
「@mescius.com」「@sbpayment.jp」「@contact.mescius.com」「@tokyo-ondai.ac.jp」
からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jpや@gmail.com等)
の取得を推奨します。

□ プリンター※
□ PDF表示・印刷ソフトウェア
□ 本人写真(カラー写真データ)

※自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。
詳しい使用方法は「出願ガイド」の STEP 1 事前準備 1.プリンター「印刷方法のご確認」を参照してください。

②「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「出願情報の登録」の「Web出願サイトはこちら」からWebサイトにアクセスし、「初めての方はこちら」からユーザー登録を行ってください。

※外国籍の方はパスポート、在留カードあるいは住民票に記載の氏名を姓(Family Name)名(First Name)の順にアルファベットで入力してください(漢字は不可)。ただし、在留カードあるいは住民票の氏名表記が漢字のみの場合は、漢字での入力も可能です。
フリガナについては、通常使用する読みをカタカナで入力してください。

※昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」のチェックを入れた方は再登録不要です。以前登録したメールアドレスとパスワードでログオンしてください。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」からWeb出願サイトにログオンし、出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web出願サイトはこちら」にアクセスし、STEP1で登録を行ったメールアドレスとパスワードでログオン後、「出願」から出願登録を行ってください。
（「出願ガイド」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/）

STEP 3

入学検定料のお支払い

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。
※検定料のほかに支払手数料が必要です。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

① Web出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずにA4サイズで印刷してください。

②本学ホームページ「入試案内（大学院）」の「出願書類ダウンロード」から、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。提出前に必ず「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と共に提出してください。
（「出願書類ダウンロード」：https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam）

③レターパックライトまたはその他の追跡できる手段（簡易書留など）を使用して、出願書類を郵送してください。レターパックライトを使用する場合は「Web出願サイト」から印刷した宛名ラベルを貼り、郵送してください（論文等の封入でレターパックの規格の厚みを超える場合は、簡易書留等別の方法で送付してください）。出願書類は出願期限最終日の消印有効です。出願最終日に郵送する際は、必ず郵便局の窓口を通じて郵送してください。

郵送をもって出願完了となります。

※海外から日本への郵便到着に不安がある方は、提出書類のPDFを事前にメール添付やファイル送信サービスにて「10 問い合わせ先」のメールアドレスに送付することができます。ただし、PDFのメール送付だけでは出願受付はできませんので、ご注意ください。

STEP 5

受験票の印刷と試験日程詳細の確認

東京音楽大学から「受験票印刷のお知らせメール」※が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているか確認し、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。
試験日程詳細は別途メールにて送信します。内容をご確認のうえ、試験会場にお越しください。
受験票は、試験当日持参してください。
※メールが届かない場合は、Web出願サイトにログオンし「受験票印刷」から印刷してください。

（「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス）
A. Web 出願サイト（ユーザー登録、出願情報の登録志願票、宛名ラベル印刷）
https://lsg.mescius.com/tokyo-ondai/App/Account/login

B. 出願書類ダウンロード
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/graduate_school/exam

出願書類一覧

	出願書類		注意事項
1	志願票	上記Aの URLから印刷 してください	Web出願サイトに必要事項を入力し、申込手続き完了後印刷してください。
2	宛名ラベル （レターパック仕様）		書類発送にレターパックを使用する場合は貼り付けてください。（拡大・縮小せずA4で印刷）
3	志望理由書	上記Bの URLから大学院博士後期課程の様式を印刷してください	
4	履歴書		
5	業績書		研究業績、音楽活動業績を含みます。 作品等の視聴覚資料を添付しても構いません。
6	研究計画書		研究題目名（40字以内） 1）研究の背景と目的（800字程度） 2）研究の方法と年次計画（1,500字程度） 3）予想される研究成果とその社会的価値（800字程度） ※「研究計画書」は、出願期間内に以下の方法で、紙媒体とデータの両方を提出すること。 ・紙媒体（プリントアウト原稿1部）は他の出願書類と共に郵送。 ・データは「PDF形式*」をメールに添付し送付。 * 画像ではなく、文書作成ソフト等で作成したファイルをテキスト検索できる形式で保存すること メール件名：「受験番号_氏名_研究計画書」と記載。 送信先: nyushi@tokyo-ondai.ac.jp
7	曲目記入票		器楽、声楽、指揮、多文化音楽実践は提出（声楽は手書き不可、入力して提出すること）
8	楽器等使用一覧 （打楽器志願者のみ）		使用楽器を記入してください。
9	セッティング表 （打楽器志願者のみ）		本人位置、楽器位置、ピアノ位置等を図示してください。
10	勤務先所属長による推薦及び入学承諾書 （社会人特別選抜志願者で、出願資格⑧に該当する者）		本学書式を使用してください。
11	出願書類 チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。

	出願書類	注意事項
12	在職証明書(社会人特別選抜志願者)	学校、官公庁、企業等の所属長が発行する在職証明書
13	博士前期課程(修士課程)修了 (見込み)証明書	学位授与機構によって学位を授与された者は、修了証明書および成績証明書と併せて学位授与証明書を提出してください。学位取得見込みの場合は学位授与申請受理証明書を提出してください。
14	博士前期課程(修士課程)成績証明書	
15	修士論文(またはそれに代わるもの)およびその要旨【修士論文等】	「修士論文(またはそれに代わるもの)およびその要旨【修士論文等】の提出方法」をご参照ください。
16	専門分野別の提出物	「Ⅲ試験科目」をご参照ください。
17	戸籍抄本(該当者のみ)	改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出してください。
18	在留カードのコピーまたは住民票 (日本国内在住の外国籍志願者のみ提出)	※在留カードのコピーを提出する場合は，裏面に記載事項がなくても，必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ※住民票を提出する場合は，在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので，出願時の３ヵ月以内に発行されたものを提出してください。 ※外国籍の一般選抜および社会人特別選抜志願者も提出してください。
19	パスポートのコピー (日本国外在住の外国籍志願者のみ提出)	※氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。 ※外国籍の一般選抜および社会人特別選抜志願者も提出してください。
20	日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書(N1) (外国籍志願者のみ提出)	外国人留学生特別選抜志願者：日本語能力試験N1の「認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。 一般選抜および社会人特別選抜志願者：日本語能力試験N1に合格している場合は「認定結果及び成績に関する証明書」の原本を提出してください。 ※「日本語能力認定書」の提出は必要ありません。

【注意】

※外国語(英語を除く)で書かれた証明書や文書等がある場合、日本語訳または英語訳および公証書を添付してください。公証書は大使館等の公的な機関で発行されたものに限ります。
証明書の提出方法等について「卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項」をご参照ください。

※出願後の提出書類の変更は認めません。また、提出された書類や検定料等は返還しません。ただし、住所・氏名・電話番号に変更があった場合は、すみやかに入試課へご連絡ください。

※出願書類がすべて揃っていない場合、出願期間を過ぎたものは受け付けできませんので注意してください。

修士論文（またはそれに代わるもの）およびその要旨【修士論文等】の提出方法

「修士論文(またはそれに代わるもの)」および「要旨」の2点を出願期間内に以下の方法で、それぞれ紙媒体とデータの両方を提出すること。

・提出する論文が、「修士論文」か、「修士論文に代わるもの」かを、Web出願申請の該当項目にチェックを入れること。

・紙媒体(プリントアウト原稿1部)は他の出願書類と共に郵送。

・データは「PDF形式＊」にてメール添付し送付。

＊画像ではなく、文章作成ソフト等で作成したファイルをテキスト検索できる形式で保存すること

メール件名：「受験番号_氏名_修士論文等」と記載。

送信先:nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

●「修士論文」とは: 在籍する(または修了した)大学等研究機関に修士論文として提出済みのもの(審査中でもかまいません)。

●「修士論文に代わるもの」とは: 上記「修士論文」にあたらないもの。ただし「修士論文」として執筆中で今年度内に提出予定の場合は、表紙(または標題紙)の右下に「YYYY年MM月DD日に○○○○大学に修士論文として提出予定」と記載のこと。また所属大学へ受験前に提出完了した場合には、速やかに提出した稿を本学入試課に送付すること。

※いずれの場合も、単著であること

※【修士論文等】に関する専門分野ごとの注意事項、要件等は下記の通り

<table>
<tr><th>専門分野</th><th>修士論文</th><th>修士論文に代わるもの</th><th>要旨</th></tr>
<tr><td>器楽、声楽</td><td rowspan="3">(1) 日本語または英語であること
(2) 音楽研究に関係のある内容であること
(3) 字数については問わない</td><td>(1) 日本語または英語であること
(2) 作曲家、作品、演奏等に関する小論文
（和文8,000字以上、
英文3,500語以上)、
その他の論文＊</td><td rowspan="4">(1)日本語であること
(2) 1,000～2,000字程度</td></tr>
<tr><td>作曲</td><td>(1) 日本語または英語であること
(2) 自作品に関する論述
（和文20,000字以上、
英文8,000語以上）</td></tr>
<tr><td>指揮</td><td>なし(修士論文に限る。)</td></tr>
<tr><td>ソルフェージュ
音楽教育学
音楽学
多文化音楽</td><td>(1) 日本語または英語であること
(2) 音楽研究に関係のある内容であること
(3) 字数については問わない</td><td>(1) 日本語または英語であること
(2) 学会誌、紀要等により公刊された論文、または新たに執筆した論文で、和文8,000字以上、英文3,500語以上であること(すでに発表した論文や、修士論文を書き直したものでも差し支えない)
(3) 音楽研究または出願する研究分野に関係のある内容であること</td></tr>
</table>

※上表＊印の「その他の論文」については、出願前に入試課へお問い合わせください。

卒業証明書・成績証明書提出上の注意事項

●卒業証明書、成績証明書等の証明書類は原本(卒業もしくは在籍している教育機関が発行し、証明した書類)、または教育機関・大使館・公証処等の公的機関より原本からの正しい複製であるという証明(Certified True Copy)を受けた書類を提出してください。

●日本語または英語以外の言語で記載された証明書は、大使館・公証処等の公的機関または、翻訳者としての資格を有する翻訳者による翻訳文を原本に添付してください。

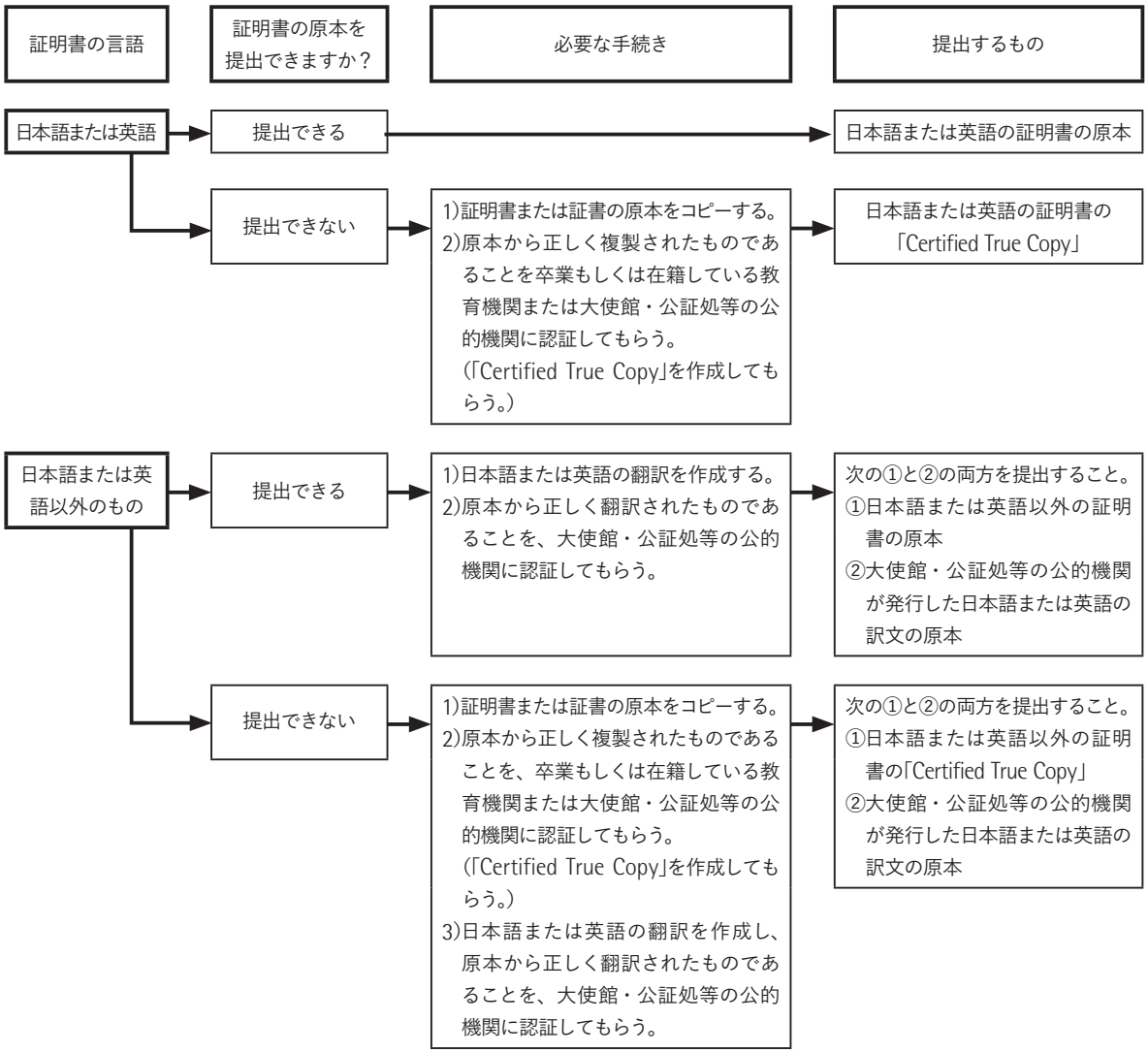
●全ての提出書類の氏名・生年月日等はパスポートの記載と一致しているものを提出してください。

●CHSI（中国教育部学歴認証センター）が発行する、英文の「学歴認証報告書」について

・中国の教育機関を卒業された方は、中国教育部学歴認証センターまたは、中国教育部学歴認証センター日本代理機構(http://www.chsi.jp/)でも公証手続きを行っています。

・「学歴認証報告書」は、CHSI から直接「nyushi@tokyo-ondai.ac.jp」にメールで届くよう、手続を行ってください。英文以外の認証報告書や、出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。

・出願書類の準備に時間がかかる場合があります。詳細は、CHSIのWebサイトを確認の上、早めに手続きを開始してください。



8 外国学生（外国籍）の方へ：在留資格「留学」の取得について

(1)日本に在留する在留資格を有している場合

①「留学」の在留資格を有している者

在留期間更新許可申請をしてください。在留期間更新許可申請は、在留期間が満了する3ヵ月前から可能です。ただし、在留資格に該当する活動を行うことなく3ヵ月以上滞在すると、在留資格取り消しの対象となりますのでご注意ください。

また、在留期間が本学入学後まで残っている場合にも、所属する学校に変更があった場合には、変更後 14日以内に法務省東京出入国在留管理局へ「活動機関に関する届出」を提出することが義務付けられています。

②「留学」以外の在留資格で日本に滞在していて、在留資格「留学」の取得を希望する者

在留資格変更申請をしてください。入学手続完了時に「入学許可書」を発行します。この「入学許可書」を使用し、日本国内で在留資格を変更することが可能です。ただし、「短期滞在」の在留資格で日本に入国している者は、原則として日本国内で在留資格の変更は認められていないので、一度日本国外へ出て「留学」ビザを取得しなければならなくなることもあります。

③「留学」以外の長期滞在可能な在留資格を有する者

在留資格「定住」「家族滞在」等を有する方は、在留資格「留学」への資格変更の義務はありません。ただし、留学生対象の各種補助制度への申込および授業の履修はできません。必要に応じて在留資格の更新・変更を行ってください。

更新･変更を行う場合は、現在持っている在留資格の種類により申請方法･書類が異なりますので、最寄りの出入国在留管理局へ問い合わせてください。

[注]本学入学前に、日本において日本語教育施設または専修学校(日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等)に在籍している者は、在留期間更新・資格変更申請の際に、法務省東京出入国在留管理局から、在籍していた教育機関が交付する出席状況証明書の提出を求められます。在籍状況に問題がある場合は、不許可となる場合があります。

[注]在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、本学が作成する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、本学に書類の作成を依頼してください。書類は入学式後にお渡しします。

(2)日本に在留する資格を有していない場合

本国の日本大使館または領事館にて「留学」ビザ発給の申請を行ってください。あらかじめ本人または代理人が、法務省東京出入国在留管理局から「在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility=COE)」を取得し、これを使用して「留学」ビザ発給の申請を行うと、審査が円滑に行われるとされています。日本に親族や経費支弁者または奨学金支給者がいる場合は、「在留資格認定証明書」交付の代理申請を依頼してください。代理申請を本学が行うことを希望する者は、合格者に案内する必要書類を入学手続時に提出してください。

[注]「在留資格認定証明書(COE)」の取得には2～3か月かかり、COE取得後の「留学」ビザ交付には3週間～1か月ほどかかります。入試の期間や入学手続きの状況によっては、日本への渡航が授業開始に間に合わない恐れがあるので、余裕をもって申請してください。

[注]ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

[注]留学生を対象とする授業料補助および大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。

9 合格発表

合格発表は、2025年2月28日（金）15:00～3月2日（日）17:00にWeb出願サイトで受験番号による発表となります。電話での問い合わせには応じません。
合格者には、合格通知書とともに、入学手続に必要な書類を出願時に登録した住所宛に郵送します。

10 問い合わせ先

【入試課】
直通電話：03-6455-2754（日・祝日除く 9:00～17:00）
メール：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp

Ⅲ 試験科目

1 共通科目試験

●外国語試験(100分)
英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語の中から、1か国語を出願時に選択。
※語学辞書の持ち込み可(音楽学を除く)。ただし、電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の使用は認めません。
※社会人特別選抜は器楽のみ免除。
※外国人留学生特別選抜は免除。ただし、音楽教育学および音楽学の専門分野では、口述試験の中で外国語能力に関する試問を行う場合がある。

2 専門科目試験・口述試験

●演奏は暗譜で行ってください。ただし､伴奏者として受験する場合や､室内楽曲を演奏する場合は、譜面を使用することができます。また、図形楽譜など特別な事由がある場合には、事前に入試課に相談してください。
●譜面台等を使用する場合は、事前に入試課に連絡してください。
●出願後、受験曲や志望する専門分野の変更は認めません。
●共演者を必要とする場合は、志願者が同伴してください。
●伴奏を必要とする場合は、原則としてピアノ伴奏のみとし、伴奏者は志願者が同伴してください。なお、譜めくりを必要とする場合も志願者が同伴してください。
※ピアノ伴奏を必要とする編成の作品(編曲を含む)を、伴奏なしで演奏することはできません。必ず伴奏者を同伴してください。該当作品を伴奏者なしで演奏した場合はそれ以降の受験はできなくなり、受験済みの入試結果についても無効とします。また、入学検定料は返還しません。
●口述試験会場に、携帯電話、スマートフォン、タブレット等のウェアラブル端末を持ち込むことはできません。

●専門分野別課題表

専門分野	課題
器楽 (ピアノ、 ピアノ伴奏、 弦楽器、 管楽器、 打楽器)	1)60分程度の自由曲によるリサイタル･プログラムを提出。演奏する箇所は、当日指定する。 プログラムには、博士研究のテーマに関連する曲目を1曲以上(ソナタ、組曲等からの楽章抜粋も可)含めること。ただし、ピアノで受験する場合は、協奏曲および室内楽を除く。また、ピアノ伴奏で受験する場合は、歌曲伴奏や室内楽を主とするが、独奏曲(20分以上)を含めること。 ※楽章や曲目ごとの演奏時間を曲目記入票に明記すること。 ※打楽器志願者は、演奏する楽譜のコピー、所定の楽器等使用一覧、セッティング表を出願時に提出のこと(製本はしないこと)。 2)修士論文等の提出書類および実技試験に関する口述試験。
声楽	1)自由曲をダウンロードした曲目記入票に入力し、20曲提出(手書き不可、オペラアリア、重唱を含んで良い)。 提出された曲から、当日演奏する曲を指定して5 日前に通知する。 ・曲名は原語と邦訳で記入、各曲の正味演奏時間も記入すること。 ・アリア、重唱は演技をつけてもよい。小道具の使用はなし。 ・伴奏者、重唱の相手は各自で同伴する。伴奏はピアノのみ。 ・前奏、間奏、後奏は省略可。(カット箇所を提出書類に記入すること) ・演奏時間、曲数は応募状況による。 2)修士論文等の提出書類および実技試験に関する口述試験。

専門分野	課題
作曲指揮 （作曲）	1)楽譜審査 〔提出するもの〕 ①自作品3曲の楽譜(作曲年を記入のこと) ②上記3作品全ての演奏音源(映像を含む音源も可。収録年月日を明記) ③それぞれの作品の作曲者本人による解説文を、1作品につき800字程度(A4用紙1枚)にまとめて、作品と同時に提出。解説文には受験番号、氏名および作品名を記入のこと。 〔提出方法〕 2025年1月17日(金) 17:00までに①③はデータ、紙媒体の両方で、②についてはUSBメモリで提出すること。①③については以下の方法で提出すること。 ・PDFまたはJPEG（JPG)ファイルで入試課宛てにメール提出 送信先：nyushi@tokyo-ondai.ac.jp 件名：受験番号_氏名_博士作品提出 ファイル名：受験番号_作品名 ・持参(中目黒・代官山キャンパス)または郵送にて入試課に提出のこと。 〔楽譜について〕 原譜ではなく複写(コピー)したものを提出のこと。表紙には受験番号、氏名、タイトル、作曲年、楽器編成を明記すること。製本はしないこと。原則として提出楽譜の大きさはA3サイズまでとするが、A3以上の場合は事前に申し出ること。 2)修士論文等の提出書類、提出作品および研究計画書に関する口述試験。
作曲指揮 （指揮）	1)動画審査：1年以内に演奏会でオーケストラを指揮した動画をUSBメモリで提出すること。(録音日時、場所を明記) 2)指揮実技(ピアノ2台による) 志願者はバロック、クラシック、ロマン、近代、現代から予め30曲を提出。当日1曲指定。(ピアニストは本学で用意する) 3)ピアノ実技 ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第1番ハ長調作品15 第1楽章よりピアノ独奏パート 4)小論文(120分) 5)修士論文等の提出書類および実技試験に関する口述試験。
ソルフェージュ	1)与えられた二声旋律聴音課題と新曲視唱課題(ハ音記号を含む)を参考に、同程度のものを各1題ずつ作成する。(2時間) 2)修士論文等の提出書類、研究計画、専攻課題(1の内容)に関する口述試験。
多文化音楽実践	1)60分程度の自由曲によるリサイタル・プログラムを提出。演奏する箇所は、当日指定する。 プログラムには、博士研究のテーマに関連する曲目を1曲以上(組曲等からの楽章抜粋も可)含めること。 ※伴奏者が必要な場合は各自用意すること。原則ピアノ伴奏に限る。 ※出願時に持参する楽器名と台数を明記すること。 ※電源を必要とする楽器や機器(パソコン、音量を増幅する機器等)の使用は認めない。 2)修士論文等の提出書類および実技試験に関する口述試験。
音楽教育学 音楽学	1)専門分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試験。 2)提出書類に基づく、研究計画についての口述試験。 3)外国人留学生特別選抜の志願者については、口述試験の中で外国語能力に関する試問を行う。
多文化音楽研究	1)専門分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試験。 2)提出書類に基づく、研究計画についての口述試験。

入学者選抜試験における不正行為について

※大学院音楽研究科の受験における不正行為についてもこの取扱いに準じます。

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。 以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

1.出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合

2.受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合

また、以下の行為をすると、不正行為とみなされる場合があります。

・カンニング (カンニングペーパーや参考書、他の受験者の答案を見ること、他の受験者から答えを教わること等)をすること。

・使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。

・試験開始の合図の前に問題冊子を開き、解答を始めること。

・試験終了の合図の後に筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けること。

・試験時間中に、他の受験者に答えを教えるなど、他の受験者を利するような行為をすること。

・試験時間中に、他の受験者に迷惑となる行為をすること。

・試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、タブレット、携帯音楽プレーヤー、ウェアラブル端末(腕時計型等)を身につけたり、作動させたりすること。

・非対面式試験において、「同意書」に記載の内容に反する行為をすること。

・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

試験実施中に不正行為と思われる行為が認められた場合、試験監督が注意し、試験の中止や退室を指示することがあります。不正行為の疑いに対処した時間があっても、その受験者は、試験時間の延長を求めることはできません。

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

Ⅳ 入学手続

1 入学手続

入学手続の流れは以下の通りです。期間内に（1）（2）の手続きを完了しない者は、入学の意志がないものとして合格を取り消します。

（1）入学金・学費等の納入 → （2）入学手続書類郵送 → （3）入学許可

（1）入学金・学費等の納入

2025年3月1日（土）～3月7日（金）までに入学金・学費等を納入するとともに、（2）の書類を簡易書留にて入試課に郵送してください。最終日の消印有効。

※入学金・学費等の納入期日は、必ず大学の口座に入金される日であること。

（2）入学手続きに必要な書類

① 誓約書・個人情報の取扱いに関する同意書（本学所定の用紙）
② 住民票または住民票記載事項証明書（3ヶ月以内のもの）
③ 修了証明書および成績証明書、学位授与証明書等
④ 学生証用写真
⑤ その他本学が提出を指示したもの

※詳細は入学手続書類に同封される案内をご確認ください。
※修士の学位が得られなかった場合は、その旨をすみやかにご連絡ください。
※提出された書類の記載事項に虚偽が判明した場合、合格または入学を取り消します。

（3）入学辞退

入学を辞退する場合は、2025年3月29日（土）11:30までに入試課に申し出てください。
なお、納入済みの入学金はいかなる理由があっても返還しません。
手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される案内をご確認ください。

2 学費その他の納入金

［1］学費

（2024年度入学者実績・参考）

納入時期	入学金※	授業料	施設等維持費	合計
春学期	350,000円	590,000円	125,000円	1,065,000円
秋学期	―	590,000円	125,000円	715,000円

［2］学費以外の諸費用

納入時期	後援会入会金（入学時）※	後援会費（毎年）
春学期	10,000円	5,000円
秋学期	―	5,000円

※ 入学金及び後援会入会金は、本学の学部卒業生又は修士課程修了者は免除

※学費に関する最新情報は以下のリンクよりご確認ください。
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses

Ⅴ 奨学金・経済的支援制度

本学の奨学金制度については、以下のリンクをご覧ください。
https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php

Ⅵ 成績開示

博士後期課程入学試験の成績開示については、入学試験を受験して不合格であった者から開示請求があった場合、開示します。

❶ 開示方法

申請書を受理した日から30日以内に、開示内容を記載した書面を受験者本人宛に特定記録郵便にて送付します。

❷ 開示申請期間

2025年2月28日(金) ～3月7日(金)(必着)

❸ 開示の請求方法

受験票、返信用封筒(返信先を明記し、320円切手を貼付した定型封筒)および申請書*を同封の上、「入学試験成績開示請求」と朱書きをして、特定記録郵便により入試課へ送付してください。
＊申請書には次の(1)から(3)の事項を記載してください(様式自由)。
(1)氏名　(2)受験番号　(3)出願の専門分野

Ⅶ 個人情報の取り扱いについて

1 個人情報の取り扱いについて

①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の体制で管理します。
②本学は、上記の個人情報を大学入学者選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査･研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格証、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合があります。

2 個人情報の管理・保管について

本学は、志願者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人東京音楽大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理･保管し、志願者の方々の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153－8622　東京都目黒区上目黒1－9－1

【池袋キャンパス】

〒171－8540　東京都豊島区南池袋3－4－5

ホームページアドレス　https://www.tokyo-ondai.ac.jp/

お問い合わせ先：入試課直通　03－6455－2754（日・祝日除く9:00～17:00）
03－6455－2774（FAX）

中目黒・代官山キャンパス

私　鉄　東急東横線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分
東急東横線「代官山駅」正面口より徒歩約5分
地下鉄　日比谷線「中目黒駅」正面改札より徒歩約5分
J　R　「恵比寿駅」西口より徒歩約14分

池袋キャンパス

地下鉄　副都心線「雑司が谷駅」より徒歩約5分
丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
有楽町線「東池袋駅」より徒歩約15分
J　R　「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
私　鉄　西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
バ　ス　「南池袋1丁目」より徒歩約3分
都　電　都電荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約5分

〈アクセス〉

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/access

TCM
Tokyo College of Music Graduate School
東京音楽大学大学院